

令和4年12月 香美町教育委員会（定例会）会議録

【開会・閉会の年月日】

令和4年12月26日（月）午後1時30分～午後2時25分

【場所】

香美町村岡地域局3階 301会議室（香美町村岡区村岡390番地の1）

【会議に出席した者の職・氏名】

教育長	前田 毅
教育委員	安田 優二
	多田 好江
	田路 一成
	上田 美登里

事務局

教育総務課長	清水 幸信
こども教育課長	丹後谷 智
生涯学習課長	井口 晃
教育総務課副課長	山田 貴広
こども教育課副課長	井上 修三
生涯学習課副課長	田中 利彦
教育総務課主幹	宮脇 秋子

【会議に欠席した委員の職・氏名】

なし

【議事日程】

会議に付した事件も、同じく別紙議事日程のとおりである。

1 開会

（教育長）開会宣言

2 会議録署名委員の決定

（教育長）会議録署名委員に上田委員を諮り、全員承認

3 会期の決定

（教育長）会期は本日1日限り

4 会議録の承認

前回会議録を会議に諮り、全員承認

5 教育長報告

11月25日から12月25日までの期間（前回の教育委員会～昨日）に開催、出席した会議・行事などについて資料により報告した。

6 事務局報告

(1) 教育総務課・・・報告者：教育総務課長

○12月議会報告について

・一般質問の概要

「給食費の無償化を恒久的な制度に」（東垣典雄議員、南垣誠議員、谷口眞治議員）

→毎年無償化するためには、町の単独費用では難しいところがある。国の支援などが必要だと思うが、何らかの財源確保ができないか検討はしていきたい。（町長）

「コミュニティスクールでは、教職員の人事に対して意見することができるようなことを聞いたが」（東垣典雄議員）

→個別の人事に対して意見することはできないが、学校運営上、目指していく学校に適した先生をお願いしたいというような話是可以する。

「来年度予算で、学校再編に係る課題の対策にどういったものが考えられているか」（見塚修議員）

→現段階で学校再編に関する予算は未定であり、様々なことが今後決まってから随時補正予算で対応していく。

「香住区のスクールバス、マイクロバスが非常に老朽化している」（見塚修議員）

→来年度予算で買い替えの要望をしている。

「チャレンジプランの回数を増やすとかあるいは1週間通してするとか、また町外の学校と交流というようなことで充実ができないか」（南垣誠議員）

→チャレンジプランというのは単に交流するだけではなく、正式な授業を行うので、回数が増えればそれだけ先生の負担も増え、また、町外の学校とは教科書が同じでないといけないという問題がある。学校再編後もチャレンジプラン継続の方向で考えているが、議員が提案されているほど充実することは不可能である。

「学校再編後の空き校舎の利活用を早期に検討すべき」（南垣誠議員）

→廃校後に地域が寂れないような有効な利活用を検討することが大切であり、多少時間がかかっても地域の要望や意見を十分に聞きながら進めていくべきである。

「日没に合わせた部活動の時間設定を」（小谷康仁議員）

→3中学校とも季節によって部活の終了時間は変えている。ただ、JRや路線バスで通学している生徒にとっては便数が少ないので、部活が早く終わっても帰宅時間は1年通じてほとんど変わらないという現状がある。今後、部活動の地域移行等もあり、それに合わせて最善策を検討していきたい。

「少人数の学校しか経験していない先生が大人数の学校に行ったときに、少人数クラスの運営しか経験していないことが学級運営の弊害になっていないか」（吉川康治議員）

→教育委員会の指導主事による担当校訪問や町教育委員会の訪問、校長との面談など多くの機会ですべてに学校とのコミュニケーションを図りアドバイスをしている。少人数でも多人数でも、教師は子ども1人1人と向き合うことが求められていることに違いはないが、学校ごとに運営方法が違う部分があり、それが軌道に乗るまで時間を要することがある。

「通園バスの置き去りや虐待の最近のニュースから保育園の安全対策は」（森浦繁議員）

→通園バスの置き去りの事故を受け、国から通知や緊急点検の指示があり、本町においても民間の保育園を含めて園の安全管理体制のチェック等の指導は行った。

「学校再編の検討状況、今後のスケジュール、住民への周知は」(谷口眞治議員)

→現在、再編検討委員会で統合の方式や統合後の校舎・学校名等について、事務局案を示して各団体で意見集約をしている段階で、今後は通学方法や放課後児童クラブの配置、施設の跡利用などについて検討していく。検討結果は、総合教育会議で確認後、保護者や地域の方を対象に説明会を開催して周知し、理解を得て進めていく。

【質疑内容】

(上田委員)

部活動の地域移行について、新聞によりますと、但馬のなかでも少しずつ動いていきつつある地域もあるようですけれど、将来的に香美町はどういうふうになっていきそうですか。

(こども教育課長)

本町も来年度、部活動の地域移行の協議会を設置し、スポーツ団体等で受け入れていただくものの調査、中学校の教員を対象にした土日の部活動の希望調査を行います。但馬の他市町とも連携しながら進めていく予定にしております。

(教育長)

今のところは土日を限定して進めていますが、文部科学省が言ってるのは、近い将来に月曜から金曜も含めての動きになる可能性もあるので、そのあたりも含めて検討委員会を作って動いていこうと思っております。

(安田委員)

部活動のことですが、基本学校の中での活動になるということですか。例えば、スポーツクラブみたいところに所属し、専門種目に出るといったようなこともあるのか。

(教育長)

今、考えているのは、学校の部活の延長上の土日という捉え方です。

○第2回香住区小学校等再編検討委員会について

・12月22日(木)に第2回委員会を開催し、第1回委員会で提示した事務局案について、各委員が持ち帰ってPTAや区長会等で意見集約を行った結果に基づき協議を行った。

・小学校の統合方式、校舎、学校名、校歌、校章、いずれも事務局の提案通りで良いと確認いただいた。

統合の方式 → 編入統合とする。

校舎 → 香住小学校を使用する。

学校名 → 香住小学校とする。

校歌、校章 → 香住小学校の校歌、校章を引き継ぐ。

・次回の検討事項として、幼稚園の統合方式等について事務局案を提示し、小学校と同様に持ち帰って意見集約していただくよう依頼をした。

(2) こども教育課

特になし

(3) 生涯学習課・・・報告者：生涯学習課長

○各種行事について

- ・第18回香美町民スキー大会について

日時：令和5年1月29日（日）午前9時30分～

会場：アルペン競技 ハチ北高原

クロスカントリー競技 おじろスキー場

- ・第16回香美町小学生交流卓球大会について

日時：令和5年2月12日（日）午前9時～

会場：香住B&G海洋センター体育館

7. その他

- 令和4年度全国学力・学習状況調査における香美町の調査結果のまとめ（概要）ダイジェスト版を配付

○教育委員から質問等

（田路委員）

終業式も終わり、学校が休みになりましたが、防災行政無線での放送や教育委員会からの連絡により、各学校の教職員や子どもたちの感染が連日のように言われていますけれど、結局のところ感染状況はどのような状況だったのか。

コロナ感染もあってなのか、全国放送ですけれども、よく報道を聞いていますと、不登校の子どもたちが、これの影響なのか増えていると言われてはいますが、町内はどうだったのでしょうか。

（教育長）

12月14日から村岡小学校と小代小学校の2年生を3日間学年閉鎖しました。15日からは佐津小の3年・4年、複式ですが3日間学年閉鎖し、16日からは佐津幼稚園を3日間の臨時休園にしました。今回の特徴としては、教職員、役場職員も含めた大人が第7波より少し増えたように思いましたけれど、終業式の頃には随分落ち着いて、子どもたちに関しては収束をして冬休みを迎えました。重症化が起きていないことが、一番ありがたいことと思います。

不登校に関しては、この時期には大体2桁になるかならないかの人数で推移していますが、今年は少し人数が多いです。各学年の特徴なのかもしれないですし、コロナの影響なのかもよく分からないですが、若干、去年よりも増えているという傾向はあります。

（上田委員）

先月の定例会で、委員の方から、長期に休んだ子どもさんが勉強のフォローをお願いしたいと学校にお願いされたら、ちょっと残念な対応だったというお話も伺いましたが、そういった対応は、それぞれ学校とか現場の先生方にお任せになっているということでしょうか。それとも、ある程度、方針的なものを示しておられるのかお聞きしたいです。

（教育長）

学校の担任を中心として、できる範囲のフォローをしていくというのが基本の原則であり、そのあたりのところをもう1回洗い出しをして保護者に説明をしてほしいと、先月の定例会後に校長会で話をしています。1か月分を1日や2日でできるはずもないし、かといって100%に戻すことも日程的に難しいところもあるので、よく相談をして、宿題を課すなり、もちろんそれは発達年齢に応じての話ですけれども、そのあたりのところの対応をもう一度チェッ

クして進めてほしいと、2学期中にできない部分があるなら3学期を使うなりしながら、トータル的に考えてほしいということで、早速、何校かの校長が、やり取りを始めていますと言っていたので、100%に戻すことは難しいにしても、特にコロナに関しては、そういう時間を費やしてやってほしいということは、校長会を通じて依頼しております。

(多田委員)

町から毎日のように職員や教職員の感染について報告があるんですけども、今、コロナに誰が罹ってもおかしくない状況ですが、やはり罹ったことでとても自分を責める方だとか、つらい思いをされる方もあるだろうし、いろんなところで苦しい思いをされている方もあるように感じられます。学校名が特定されての報告だったり、区内の幼稚園だという曖昧な形での報告だったり、対策会議での公表の基準というものがあると思いますが、人権への配慮についてはどうなのでしょう。

(教育総務課長)

公表の基準については、町のコロナ対策本部会議の中で決めていますけれども、施設名を公表するという点については、町民が施設を利用するにあたり、あまり不安に思われないように施設名を公表するという基準になっていまして、その中でも、職員数が少ない施設については、特定の施設名で言うと個人が特定されてしまうので、「香住区内の」とか「町内の」とかいうような言い方にしています。町長の思いとしては、町職員、学校関係でこれだけ出ているということは、町民の間でも同じように感染が広がっているというふうに捉えてもらって、注意をしてほしいという意味合いで続けているというところがあります。

○1月の定例会について

日時：1月26日(木) 午後1時30分～

会場：香美町村岡地域局3階 301会議室

○2月の定例会について

日時：2月22日(水) 午後1時30分～

会場：香美町役場本庁2階 第2会議室

8 閉会

香美町教育委員会会議規則第27条の規定によりここに署名する。

令和4年12月26日

教育長 前田 毅

香美町教育委員会 署名委員 上田 美登里

会議録作成者：教育総務課 主幹 宮脇 秋子